	<p>2022年 6.1 第1号</p>	<p>特別支援学校支部だより</p> <p>😊</p> <h1>笑顔の輪</h1> <p>😊</p>	<p>発行所 富山県教職員組合 富山市千歳町1-2-7 教育会館内 TEL (076) 441-4451 FAX 441-3910 Eメール ttu@room.ocn.ne.jp</p>
---	------------------------------	--	---

特別支援学校支部担当の門廻です。今年度より執行委員になりました。どうぞよろしくお願ひします。この「笑顔の輪」では、特別支援学校支部のみなさんに組合活動や役立つ情報などをお知らせしていきたいと思ひます。

新年度に入り、県内すべての特別支援学校へ挨拶に伺わせていただきましたが、これまでとりこんできた働き方改革が実を結び、働きやすくなったという声があった反面、ほとんど変わっていないとの声もありました。分会によってワーク・ライフ・バランスを達成するための課題は違うと思ひますので、これからも分会の現状や課題についての声を届けていただきたいと思います。



新体制スタート

2022年度がスタートしました。特別支援学校支部の執行部も新しいメンバーでスタートします。引き続き、皆さんのご協力をお願いします。6月24日の支部定期総会で承認を受けて正式に執行部となります。4月19日に第1回支部執行委員会、5月13日に第1回分会長会議を開催し、支部の活動方針等について話し合いました。

<新支部執行委員>

支 部 長	杉本 一美 さん (ふるさと支援学校)
副 支 部 長	古川 恵美子さん (富山視覚総合支援学校)
副 支 部 長	中村 いずみさん (高岡聴覚総合支援学校)
書 記 次 長	常楽 知栄 さん (となみ東支援学校)
書 記 長	門廻 宏昭 (本部 執行委員)



<分会長>

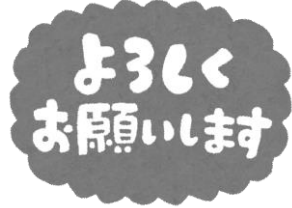
藤澤 綾香 さん (富山視覚総合支援学校)	廣瀬 英子 さん (富山聴覚総合支援学校)
岩本 直美 さん (高岡聴覚総合支援学校)	原 幸子 さん (富山総合支援学校)
越後 直美 さん (高岡支援学校)	蔵 浩知 さん (ふるさと支援学校)
戸谷 奈穂美さん (高志支援学校)	野崎 和仁 さん (しらとり支援学校)
浅野 照美 さん (にいかわ総合支援学校)	杉崎 純子 さん (となみ総合支援学校)
能澤 誠 さん (となみ東支援学校)	本野 雅宏 さん (こまどり支援学校)
奥 絹恵 さん (高岡高等支援学校)	

2021年度の能澤支部長をはじめ支部三役・役員のみなさん、分会役員をしていただいたみなさん、本当にありがとうございました。今後ともよろしくお願ひします。



2022年度その他役員紹介

- | | |
|--------------------------|-----------------------|
| ・ 寄宿舎教員部長 | 森川 達也 さん (しらとり支援学校) |
| ・ 県女性部長 | 鈴木 佳世子さん (となみ総合支援学校) |
| ・ 県臨採部長 | 高橋 めぐみさん (にいかわ総合支援学校) |
| ・ 支部女性部長 | 上村 好美 さん (富山総合支援学校) |
| ・ 支部青年部長 | 小島 麻衣子さん (にいかわ総合支援学校) |
| ・ 支部教文部長 | 高島 浩美 さん (富山聴覚総合支援学校) |
| ・ 支部養教部長 | 松岡 真美 さん (にいかわ総合支援学校) |
| ・ 会計監査委員 | 長澤 智子 さん (高岡支援学校) |
| ・ 選挙管理委員 | 中原 瑞穂 さん (高岡聴覚総合支援学校) |
| ・ 機構整備特別委員
(2年任期の1年目) | 篠田 彰信 さん (にいかわ総合支援学校) |
| ・ 女性参画推進委員
(2年任期の1年目) | 鈴木 優香子さん (富山総合支援学校) |
| ・ 教育会館評議員
(4年任期の1年目) | 田口 一志 さん (にいかわ総合支援学校) |
| | 野崎 和仁 さん (しらとり支援学校) |
| | 桂井 朋子 さん (高岡支援学校) |
| | 西野 茂 さん (しらとり支援学校) |
| | 鈴木 佳世子さん (となみ総合支援学校) |



支部定期総会 6月24日(金) 18:30~19:30 (ポルファートとやま)

○今年度は対面とWebでのハイブリッド開催になります。

○運動方針(案)以外の議案についても質問・意見の受付をしています。総会資料は分会長さんがもっていますので、ご覧になって、ご質問・ご意見があれば分会長さんへ伝えてください。

特別支援学校支部 2022年度 運動方針(案)

1 特別支援教育をすすめるとりくみ

- (1) 保護者のみならず様々な個人や障害者団体との連携を強化して、特別支援教育の進展を めざします。
- (2) 教員の増員を求めます。特別支援学校と小中学校特別支援級に定数加配を要求します。
- (3) 県独自の予算で特別支援学校高等部普通級と小中学校の特別支援学級の定員6人以下学級を要求します。また日教組を通じ、国に対して特別支援学校高等部普通級と小中学校の特別支援学級の定員の改善を求めていきます。
- (4) 施設、設備、校具、教具については、特別支援教育の将来的展望を考慮しながら、特別支援学校設置基準に基づき、障害の種類及び程度、児童生徒数などに応じて、指導上、保健衛生上、安全上及び管理上適切なものになるよう要求します。
- (5) 寄宿舎教員数が削減されることのないよう県の動向を注視するとともに、寄宿舎教員の重要性を訴え、計画的な正規採用を要求します。
- (6) 「スクール・サポート・スタッフ」「給食配膳員」「図書館司書」「就労支援サポーター」「ICT支援員」など教員を支援するスタッフの適正な配置と増員を要求します。
- (7) 医療的ケアの充実のため、「看護師」の増員と時間数増加および待遇改善を要求します。
- (8) 特別支援教育に理解のある管理職を配置するよう要求します。
- (9) 地域交流、居住地交流、居住地校交流や学びの場の変更が円滑に進められるように条件の整備を求め、児童生徒の豊かな生活が保障される学校づくりをめざします。そのためにも、特別支援学校に在籍する子どもが居住地の小中学校にも籍を置くことができる「副籍制度」の導入を県教委に求めます。
- (10) 特別支援学校の校種ごとの特性やライフステージにあった必要な支援について、通常級を含む保護者や教職員に周知するよう求めます。
- (11) 特別支援学校の需要費等の増額と支給時期の適正化を要求します。

2 生活と権利を守るとりくみ

- (1) 県教組とともに給与の改善を強く求めると同時に、「地域手当」を全県一律支給とするよう求めます。

- (2) 「目標達成度による教員評価」は教育現場にそぐわないため、賃金・人事に反映されないよう強く求めます。また個人面談がハラスメントにつながらないように求めます。
- (3) 教職員の勤務条件と待遇が改善されるようとりくみます。
- ① 「とやま学校働き方改革推進プラン2022」の周知を求め、教職員の心身の健康を守る具体策になるようとりくみます。
 - ② 働きやすい職場環境をめざし、会議、研修等による超過勤務の解消にとりくみます。
 - ③ 特別支援教育に関する学校受け入れ研修の業務負担軽減にとりくみます。
 - ④ 業務が個人に集中することのないよう業務の平準化、削減、効率化を求め、他県や他校の好事例の情報の発信にとりくみます。
 - ⑤ 男女がともに仕事と生活が両立でき、多様な働き方ができるようとりくみます。
 - ⑥ ゆとりある教育実践の環境を作るために、担当授業時数軽減を求めます。
 - ⑦ 免許外教科担当および臨時免許の早期解消に向けてとりくみます。
 - ⑧ 特別支援学校に勤務する「教員」「寄宿舎教員」「実習教員」「臨時的任用講師」「任期付職員」「会計年度任用職員」など様々な職種の教職員の待遇改善を求めます。
 - ⑨ 舎監の勤務軽減に向けてとりくみます。
 - ⑩ 教職員の人事異動に際しては、男女比、年齢構成、専門性などに配慮し、希望と納得の人事異動となるよう求めます。
 - ⑪ 再任用希望者がフルタイムを含む希望通りの勤務時間形態で働くことができるように求めます。

3 教育研究活動のとりくみ

特別支援教育の実践的な理論追求と教育現場の実態に即した活動をふまえ、自主的な教育研究活動を推進します。

- (1) 「共に生きる権利」「発達する権利」の学習を深め、本人と保護者の願いに応えるとりくみをすすめます。
- (2) 有益で民主的な研修のあり方を追求します。
- (3) 以下の集会において還流活動を積極的に行います。
 - ① 県民におくる教育講演会 (未定)
 - ② 教育研究全国集会 (未定)
 - ③ 三プロ障害児教育部学習会 7月23日(Web)
 - ④ 障害児教育研究集会 8月6日、7日(東京)



4 専門部のとりくみ

青年部、女性部、寄宿舎教員部、養護教員部の活動をさらに前進させるために、学習会や相互の理解と親睦を深めます。さらに実習職員部、栄養職員部、臨時採用教職員部の組織強化をすすめます。

5 組織の団結・強化のとりくみ

- (1) 組合員の要望をまとめて分会要求とし、分会一致の運動としてとりくみます。
 - ① 分会役員の連携・連帯強化をはかります。
 - ② 分会集会の活性化をはかり、分会組合員の意見交流を活発にします。
 - ③ 定期的に校長交渉を行い、身近な職場環境の改善をはかります。
- (2) 支部・県教組のとりくみや運動の成果を、分会の組合員へ広く知らせます。
 - ① 支部だよりを発行し、支部のとりくみや情勢などについて知らせます。
 - ② 分会集会、分会の組合掲示板等とおして組合のとりくみを知らせます。
- (3) 新採加入パンフ等を活用し、新採者、臨任の加入促進を積極的にすすめます。
- (4) 「分会の集い」を開催し、仲間意識を深めながら、日々の声かけを行います。
- (5) 「共助」に重きを置き、「信頼され、役に立つ組合づくり」を意識して、組合員一人ひとりが支部活動への理解を深め、仲間の和(輪)をひろげる活動を展開します。

ご存じでしょうか？

「とやま学校働き方改革推進プラン2022」

・教育委員会、校長会、県教組、大学、経済界などの代表が学校の多忙化解消について話し合い、教育委員会と学校のそれぞれにおいてとりくむ内容を決めています。みなさんの学校にもあると思いますので、どんなことがとりくむ内容になっているか確認してみてください。みなさんが感じる「おかしい」や「大変だ」がとりくむ内容になっているかもしれませんよ。例えばこのようなとりくみが計画されています。

- ・校務分掌の在り方の見直し等による業務の平準化
- ・教職員の働き方に配慮した適切な年間授業計画の編成
- ・ICTを活用した教材や指導案の共有化
- ・教育計画や学校経営計画等への教職員の働き方に関する視点の導入



「特別支援学校設置基準」 令和3年9月公布

チャンスです！

総則、学科の規定は令和4年4月1日から、編成、施設、設備については令和5年4月1日から施行になります。この法律は特別支援学校における「学級編成のルール」や「必要な設備や道具」についての**最低基準**を示したものです。

第13条 施設及び設備の一般的基準

特別支援学校の施設及び設備は、指導上、保健衛生上、安全上及び管理上適切なものでなければならない

第17条 校具及び教具

第1項 特別支援学校には、障害の種類及び程度、部および学科の種類、学級数及び幼児、児童又は生徒の数等に応じ、指導上、保健衛生上及び安全上必要な種類及び数の校具及び教具を備えなければならない

第2項 校具及び教具は、**常に改善し、補充しなければならない**

※学校の施設や設備、校具(机や椅子)、教具(指導に必要な教材)を見直すチャンス！

第145回定期大会 5月29日(日) (ポルファートとやま)

今年度の県教組の運動方針や予算について質疑、討論が交わされました。特別支援学校支部から参加の代議員の方々にも、大会の運営や討論での発言をしていただきました。お忙しい中、当日参加して下さったみなさん、ありがとうございました。



新しい仲間の紹介

- | | |
|----------------------|-------------------------|
| 宇於崎友貴 さん (高岡支援学校) | 吉田 理恵 さん (高岡支援学校) |
| 奥野 可南子さん (しらとり支援学校) | 大居 昭由 さん (しらとり支援学校) |
| 松本 しのぶさん (となみ総合支援学校) | 松村 陽子 さん (となみ総合支援学校) |
| 山岸 詩 さん (となみ総合支援学校) | 畑 実香子さん (となみ総合支援学校) |
| 青山 真紀 さん (高志支援学校) | 萩原 梨江さん (高志支援学校こまどり分教室) |
| 河内 洋子 さん (高岡高等支援学校) | |

2022年夏 参議院選挙(比例代表) 立候補予定者

古賀ちかげのめざす社会

こが 古賀ちかげ

子ども

子どもたちが笑顔で学校へ通えるよう、
子ども・学校・家庭への支援にとりくみます。

- ・教育にかかる公費負担を増やし、私費負担を軽減します
- ・教職員の働き方改革にとりくみます
- ・学ぶ環境の整備(少人数学級の促進や定数改善)にとりくみます

